

【記者からの質問】

<新型コロナワクチンについて>

共同通信／夜間接種の利用状況を教えてほしい。

知事／3,000人分の量を確保しているが、予約を含め約1,100人。これで、もう接種希望者がいないのかどうか判断しかねている。若い人への広報活動をしていく。

共同通信／3回目接種への考え方を。

知事／9月17日、国の専門家会議で、3回目の接種を行う必要があるとの見解が示された。詳細がわかり次第、市町医師会とも連携しながら準備をしていく。

県内で、早い時期に接種を完了した医療従事者から陽性者が出ることがある。ある程度、定期的にワクチン接種をしていくことになるのではないかと。

<大雨災害について>

NHK／なりわい補助金は、本激でないとは適用は難しい。局激の大町と武雄の商業に関して、適用はどうなるのか。

知事／最重要事項として、国にさまざまなルートでお願いをしていた。その結果、2回の被災を重く受け止めてもらった。

なりわい補助金は、1億円の定額補助が10/10。さらに3億円が3/4。つまり、事業者は1/4で済む。この2つがセットで活用できる。これが、局激といえども2回も被災したことに対し、配慮してもらった。しっかり対応していく。

<新型コロナウイルス感染症について その1>

NHK／地方創生臨時交付金の残額2億8,000万円についての考えを。

知事／売上減少率が2割減の事業者に対し、大きな予算を使ったので、ほとんど残りが残らない。

第6波はできるだけ遅くという気持ちと、交付金の増額、新たな補正予算の決定に期待している。これは、全国の知事の共通の思い。

<有明海再生関連>

朝日新聞／5日の大臣就任会見で、金子農水相が諫早湾の開門は厳しいという姿勢を示しながら、衆院選後に長崎、佐賀を訪れる方針を示した。これに対する受け止めを。

知事／金子大臣は、元長崎県知事。有明海のことは、経緯も含めよくご存じのはず。どういうお考えで佐賀と向き合うのかという点に関心がある。

また、大臣の話では「司法で解決するしかない」とも。司法は、「話し合いのほかに解決方法はない」と判断し、和解協議を指揮した。

現実的には、お互いで協議することになる。国は非開門を前提にした協議でないとは応じられ

ないという姿勢ではなく、話し合いに応じてもらいたい。非開門を前提に佐賀に来るという趣旨がわからない。訪問の意思を明確にしてほしい。

<衆院選と佐賀市長選等について>

朝日新聞／衆院選と市長選で、それぞれ意中の人はいるのか。

知事／それはお答えできない。佐賀市長選と市議選の2週間後に衆議院議員総選挙があり、その2週間後に唐津で県議選の補選がある。有権者の皆さんは、ぜひ投票に行ってください。

<新型コロナウイルス感染症について その2>

西日本新聞／Go To トラベルキャンペーンの再開に対する所見と秋の観光シーズンに県境を越えた移動に対する考えを。

知事／企画から実現する間のタイムラグが怖い。

今日から再開ならば、ワクチン接種や陰性証明で人を動かそうとしているから理解は得られる。今から準備するなら、もし第6波が来たときには、引き返せるような柔軟性が必要になってくる。これは、都道府県ならできる。国は、いったん決まった意思決定や準備したプロセスが変えられない弱点がある。今までの経験を生かして、事業設定をしてほしい。

西日本新聞／ゾンビランドスタンプラリーは、県外からも来ていいのか。

知事／この企画は、屋外を動くものだからリスクは少ない。現状では、県外から来てもらってかまわない。

<eスポーツについて>

佐賀新聞／茨城国体で文化プログラムとして初めて開催され、三重国体では、eスポーツ選手権のみオンラインで開かれた。佐賀国スポでeスポーツを開くのか。また、新しいアリーナへの大会誘致は？

知事／eスポーツは、簡単などころから難しいレベルまで設定が可能だから、高齢者が始めると生活が豊かになるのではないかと。先日、鹿島高校が大会で優勝した。

サンライズパークは、設備も整っているから利用したい。国スポでも取り入れたい。

<佐賀市長選について>

記者／注目している政策を教えてください。

知事／市長は、いろんな人の考えを聞いて考えることが多い。選ばれた市長と、いかに話し合いをしていくのか。お互いの立場を理解していくことが大事だと思う。